

研究の手続き／論文の書き方

1年
2年
コース
入門

問題意識・関心テーマ

関連文献の収集・整理

先行研究動向の整理

- 何が明らかにされているか
- 何が研究課題となっているか

- 1) 文献リストの作成, 文献収集
- 2) 関連図書・論文の精読・要約
- 3) 文献に掲載された文献・資料・データの収集

研究課題が多い場合には, その中の関心のある課題・テーマを中心に上げる

3年
4年
演習

どのような研究課題について, どういった事象 or どの地域を対象に研究するか → 仮説の構築

対象事象・地域は多様な関係性やスケールがある
仮説は複数でもよい

- その研究課題・仮説を明らかにするために何を調べるのか(分析指標)
- 分析指標を明らかにするためのエビデンス(証拠)やデータの収集(文献調査・資料収集・実証実験・現地調査 など)

分析指標の検証やオリジナルデータの構築(エビデンスやデータの説明能力)

検証結果・仮説の検証

客観性の担保

再調査・再分析

卒業
研究

文章化

上記の手続きを順序立てて説明

論文の書き方

- ① 問題提起・研究課題
- ② 研究手法・仮説立案
- ③ 本論(調査・実験・分析)
- ④ 結論・課題